

# アクティブラーニングと学生の授業評価を取り入れた 保健体育科教育法の展開について

Study on Teaching Method of Physical Education Using Active Learning and  
Consultation by students

竹 田 唯 史 <sup>1)</sup>	近 藤 雄 一 郎 <sup>2)</sup>	森 靖 明 <sup>3)</sup>
Tadashi TAKEDA	Yuichiro KONDO	Yasuaki MORI
佐 藤 亮 平 <sup>2)</sup>	石 井 由 依 <sup>4)</sup>	小 野 地 柊 <sup>5)</sup>
Ryohei SATO	Yui ISHII	Syu ONOCHI
梅 田 千 尋 <sup>6)</sup>	杉 岡 品 子 <sup>7)</sup>	吉 澤 正 伸 <sup>1)</sup>
Chihiro UMEDA	Shinako SUGIOKA	Masanobu YOSHIZAWA
山 本 堅 一 <sup>8)</sup>	千 葉 道 博 <sup>9)</sup>	
Kenichi YAMAMOTO	Michihiro CHIBA	

## I. はじめに

これまでに学習指導要領は、時代の変化や子どもたちの状況、社会の要請等を踏まえ、おおよそ10年ごとに、数次にわたり改訂されてきた。平成29年3月に公示された学習指導要領の改訂のポイントは、学習の内容と方法の両方を重視し、子どもの学びの過程を質的に高めていくことであり、子どもたちが「何ができるようになるか」を明確にしながら、「何を学ぶか」という学習内容と、「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立ててい

くことが重要であることが示されるなど、初めて「学び方」についても示された点である。こうした中、子どもたちが学習内容を人生や社会の在り方と結びつけて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、アクティブ・ラーニングの視点が位置づけられている。

アクティブ・ラーニングについては、2012年の中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学

- 
- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1) 北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科     | 2) 北海道大学大学院教育学研究院    |
| 3) 北海道札幌西高等学校               | 4) 北翔大学大学院生涯学習学研究科修了 |
| 5) 飛鳥未来高校                   | 6) 北海道小平高等養護学校       |
| 7) 北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科       | 8) 北海道大学高等教育推進機構     |
| 9) 北翔大学教育支援総合センター FD 支援オフィス |                      |

キーワード：保健体育科教育，教員養成，コンサルテーション，授業評価

び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」の用語集の中で「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称」として示され<sup>1)</sup>、これまで大学教育において導入されてきた。また、溝上は、「一方的な知識伝達型講義を聴くという(受動的)学習を乗り越える意味での、あらゆる能動的な学習のこと。能動的な学習には、書く・話す・発表するなどの活動への関与と、そこで生じる認知プロセスの外化を伴う<sup>2)</sup>」と述べ、より深い学びの必要性を指摘している。

今回の改訂の方針を受け、将来的に保健体育科教員として授業の最前線に立つ学生に対し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善に取り組む力を身に付けさせることができるよう、今後は保健体育科教育法の講義内容を一層改善・充実させていくことが求められている。

また、現在、大学における授業の質的向上が求められ、学生による授業評価や外部の専門家による「授業コンサルテーション」などが行われ、教員は自身の授業改善に積極的に取り組む必要がある<sup>3)</sup>。

これまで筆者らは、平成28年度の「保健体育科教育法」において授業コンサルテーションを取り入れた授業改善を行ってきた<sup>5)</sup>。授業コンサルテーション実施の結果から、学生の学ぶ意欲を向上させるための方法としてアクティブラーニングを取り入れることは有効であること、学生からの授業評価を受けることは、授業改善に有効であることが示唆された。

これらの研究結果から、平成29年度の「保健体育科教育法」においては、毎時間、学生からの授業評価を行い、授業ごとにその内容

をフィードバックし、授業改善に努めてきた。

そこで本研究は、保健体育科の教員養成課程を持つ大学の「教職に関する科目」である「保健体育科教育法」において、毎時間の学生による授業評価に基づく授業改善の結果を報告することを目的とする。

## Ⅱ. 研究方法

### 1. 対象授業の概要

対象授業は、保健体育科教員養成課程の教職に関する科目の必修科目である「保健体育科教育法Ⅱ」(担当教員：竹田唯史)とした。本授業のねらいは、「保健体育科の目的や意義を理解し、各種目の指導目標・指導内容・指導計画、指導方法、評価方法等について理解を深め、保健体育科教諭として授業を展開していくのに必要な資質・能力を養う」ことである。具体的な到達目標は、「保健体育科の目的・内容・方法について理解する」「各領域のねらい、技術、指導方法について理解し、指導計画を立案できる」「各領域のルール、歴史などを理解できる」の3点を位置づけた。各回の授業においては、学習指導要領の内容である「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」の具体的な指導方法について学ぶこととした。評価は、「意欲・態度」が30%、「筆記試験」が70%の割合で行った。筆記試験は、北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査の過去問題から出題することを授業初回時に学生へ伝えた。受講生は108名であった。

## 2. 学生による授業評価の概要

### 1) 毎時間の授業評価

毎時間の講義終了時に、学生による授業評価を行った（図1）。

「本日の授業で学びを深めることができま

したか？」という質問に対し、「①まったくできなかった」「②あまりできなかった」「③どちらともいえない」「④少しできた」「⑤とてもできた」の5件法で回答を得た。

その後、「学びを深めることができた内容

平成29年 月 日(金) 保健体育科教育法Ⅱ 第 回
<h3>授業アンケート</h3>
<p>1. 本日の授業で学びを深めることができましたか？（以下、○をつけてください）</p> <p>① まったくできなかった          ② あまりできなかった          ③ どちらともいえない          ④ 少しできた          ⑤ とてもできた</p> <p>・学びを深めることができた内容や教員の働きかけ：</p>      <p>・学びを深めることができなかった点・問題点・課題点・意見など：</p>      <p>3. その他、何かあれば記載ください。質問もOKです！！</p>

図1 学生による授業評価（毎時間用）

や教員の働きかけ」「学びを深めることができなかった点・問題点・課題点・意見など」「その他、何かあれば記載ください。質問もOKです」という質問に対する自由記述を位置付けた。以上の質問項目は平成28年度に実施した授業コンサルテーションの質問項目を参考にして作成した。

各回における回答割合を比較し、特に前半1～7回と後半9～13回の「⑤とてもできた」と回答した割合の平均を求め、t検定により比較した。有意水準は5%とした。

尚、第2回は教員採用合格者の先輩による体験談を実施したため、授業評価は行わなかった。また、第6回目は中学校で保健体育教師として勤務する卒業生による特別講義のため、上記平均値の対象から除外した。

## 2) 学生へのフィードバック

講義終了後、データを集計し、自由記述とともに、学生へA4版で印刷し、フィードバックを行った。その中で、質問への回答や改善点などを教員が説明した。実施時間は5～10分であった。

1～13回までの学生による授業評価結果を検討し、自由記述内容と授業改善について

考察する。

## 3) 最終講義における授業改善アンケート

大学全体として実施している「授業改善アンケート」を講義の最終回に実施した。

平成26年度～28年度の結果と比較する。

## Ⅲ. 結果

### 1. 毎時間の学生による授業評価

毎時間の授業結果を表1、図2に示す。第6回目において、「⑤とてもできた」が86.1%であり、他の回と比較して非常に多い結果であった。この回の授業は、中学校の保健体育教師として勤務している卒業生による特別講義であり、現場での実際の教育や教師になるための心構え、方法についての講義を行った。

それ以外の通常の授業を比較すると前半の1～7回目の「⑤とてもできた」の回答平均は34.2±4.3%であるのに対し、9～13回目の授業の回答平均は48.3±3.3%であり、検定の結果、授業後半の方が前半と比較して、「⑤とてもできた」と回答した学生の割合が有意に向上していた ( $p<0.01$ )。

表1 学生による授業評価結果

講義回数	1	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13
日付	9月22日	10月13日	10月20日	10月27日	11月3日	11月10日	12月1日	12月8日	12月15日	12月22日	1月12日
授業内容	オリエンテーション	教育基本法	新学習指導要領	指導計画	外部講師	体づくり運動	器械運動	器械運動ビデオ、陸上①	陸上②リレー	水泳	球技
項目	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)	人数(%)
①まったくできなかった。	1 (1.2)	1 (1.2)	2 (2.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
②あまりできなかった。	1 (1.2)	2 (2.4)	3 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.1)	2 (3.0)	3 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (7.6)
③どちらともいえない。	9 (11.0)	3 (3.5)	16 (18.0)	10 (13.5)	2 (2.8)	4 (6.2)	5 (7.5)	10 (14.3)	6 (8.8)	9 (11.4)	8 (12.1)
④少しできた	40 (48.8)	46 (54.1)	43 (48.3)	40 (54.1)	8 (11.1)	37 (56.9)	26 (38.8)	23 (32.9)	27 (39.7)	28 (35.4)	23 (34.8)
⑤とてもできた	31 (37.8)	33 (38.8)	25 (28.1)	24 (32.4)	62 (86.1)	22 (33.8)	33 (49.3)	34 (48.6)	35 (51.5)	42 (53.2)	30 (45.5)
合計	82 (100)	85 (100)	89 (100)	74 (100)	72 (100)	65 (100)	67 (100)	70 (100)	68 (100)	79 (100)	66 (100)

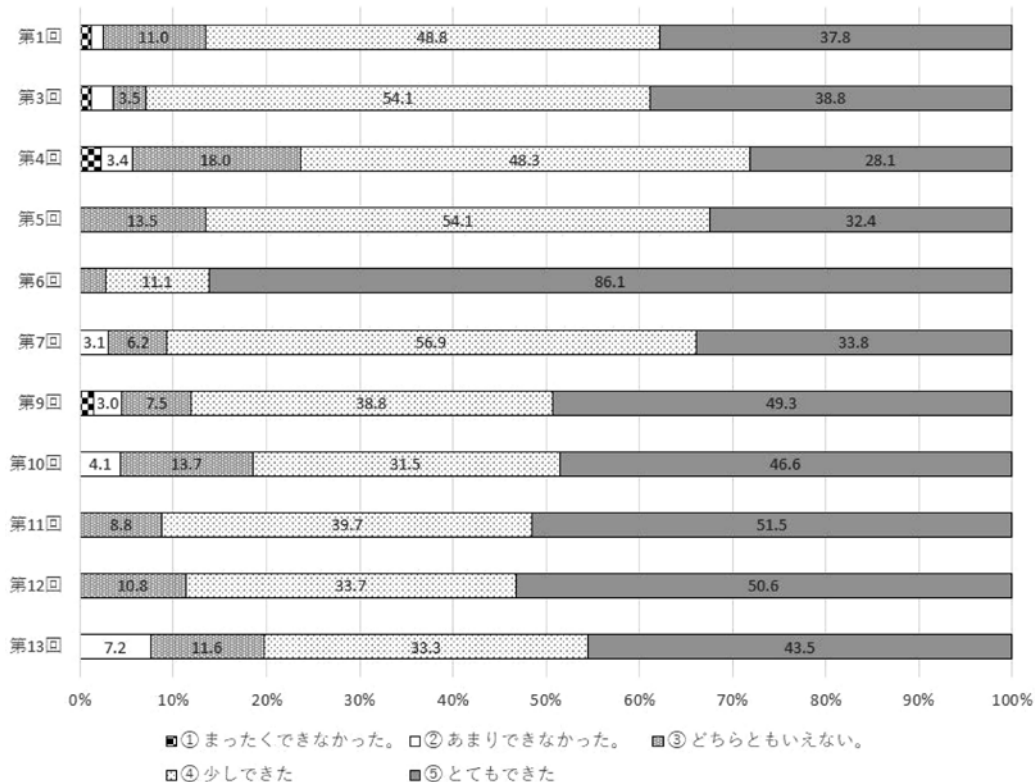


図2 毎回の授業評価結果

## 2. 自由記述と学生へのフィードバック

毎回の授業において、前授業の授業評価結果をプリントアウトして学生へ配布した。評価割合の説明、自由記述の紹介とそれに対する教員の意見、改善方法についてコメントした。

以下、自由記述内容について紹介する。

### 1) 第1回

第1回の授業ではオリエンテーションと教員採用の状況、どのようにすれば合格できるかを講義した。

その結果、学びを深めた内容では、「1次、2次の試験内容、倍率などが理解でき試験や面接、実技に対してどのように準備すべきかを考えることができた」、「身近に成功した人がいるから自信が持てた」、「改めて教師にな

りたいと思えるような内容だった」という肯定的な意見が多かった。

改善点として、「前に映っている画像が少し見えにくい」というものがあった。

また、その他として教員採用試験に関する質問があった。

### 2) 第3回

教育基本法の改訂年や基本的な教育用語について講義を行った。年号を覚えることを容易にするため、「ラップ調」のリズムののって年号を強調した。

その結果、「リズムやゴロで覚えることができた」「先生のラップで覚えた」と好評であった。また、「マズローの欲求階層説」「ア

クティブラーニング」「インクルーシブ教育」についても学びを深めたとの回答があった。

改善として、「最後の方がスピードが速くて、スクリーンを写すだけになってしまった」、「あてるのはたまにでいい。グループで話し合った後など」という意見があった。

### 3) 第4回

新学習指導要領の変更点について講義した。実際の授業にグループワークやアクティブラーニング的な要素を取り入れた。学びを深めた点として、「一人で考えずに、わからないところは友達と話し合うことで様々な意見交換ができた」という意見が多かった。

改善点として、「ラップやめてほしい」、「ラップは覚えにくい」、「ラップうるさい」という意見もあり、次講義からはラップは実施しないこととした。

### 4) 第5回

指導計画の立案方法について講義した。学びを深めた内容として、「実際に指導にあたっての進め方や観点を学ぶことができた」、「個人に話しかけて発表させ、授業が工夫されていた」、「問いを深めていた。教師としての指導のポイント」、「わかりやすい指導、スムーズに進んでいた」、「今までで一番よい授業だと思う」との意見も出された。

改善点として、「ラップがなくて少し寂しかった。自分にはラップが必要です」、「生徒に当てすぎて、ソワソワして集中できないし、人に当てるたびにザワザワしてうるさいので、無くしてほしいとは言わないが、少なくしてほしい」、「ランダムで当てすぎて、当たった人が答えられなかった時の時間ももった

いなと思います。当てるのが多い。何度もしつこい」との意見が出された。

学生は学びを深めたい一方で時間的なロスとなることを嫌がるのがわかる。

### 5) 第6回

第6回目は卒業生の現職教員による講演であった。その結果、「現場での教師の仕事の内容ややりがいを理解できた」、「教師の働きかけによって生徒が成長することがわかった」、「絶対に現役で教師になるという気持ちが高まった」という肯定的な意見ばかりであった。

学生は現場での実際の様子について知りたがっていることが良く理解できる。今後でもできるだけこのような講義を設定していきたい。

### 6) 第7回

第7回は体づくり運動についての授業であった。平成29年に改訂された新学習指導要領との変化点の確認などを中心に行った。学びを深めた点として、「20年と29年の変更点をわかりやすくまとめてくれた」、「学習指導要領の変遷」、「スキャモンの発達曲線」などがあった。

この回の授業では、体づくりに関する過去問題のプリントを配布した。その結果、「過去問」、「問題結構とけた」、「復習を何回もやることで覚えることができる」という意見があった。

改善点として、「問題の答え合わせをしてほしい」、「グループワークなどのアクティブラーニングがなかった」、「試験の内容を話してほしい」などが出された。

また、「復習をしている講義はなかなかないのでもっと増やしてほしい」という意見がだされた。本授業では前時の授業内容を復習するのだから、それに対する評価を得た。学生

が知識を習得するためには繰り返しの指導が必要といえる。

その他の意見として、「毎回、アンケートでいろいろとDisられているけど一切ひるまず、わかりやすい授業をしている先生はすごいと思う」という意見があったが、「Disられているとは思っていません。良い授業のためのアドバイスとして聞いていますので!!」という返答をした。実際のところ、傷つく内容もあるが、それは自分の至らなさとして理解し、学生の真意を理解するように努めている。

#### 7) 第9回

第9回は器械運動の講義を行った。「技術と技能などの言葉の違い」、「マット運動の回転系の技のコツを理解できた」、「器械運動の運動経過を詳しく知ることによって生徒にこれを伝えればイメージしやすいと思った」、「毎回、復習をしてくれるので、よい」

改善点として、「同じことを何回も書かされた」という意見があった。講義者は知識として習得してほしいと思い、何度も同じことを記載する課題を設定しているが、それを嫌がる学生もいるといえる。

#### 8) 第10回

第10回は器械運動の実際の指導方法のビデオと陸上競技を取り上げた。学びを深めた点として、「器械運動の効果的な練習法」「ビデオを利用して説明したこと」「川跳び越しかから側転、跳び箱につながること」、「体をはった側方倒立回転。実技が良かった。動きが若い」、「復習が長いので先週の内容は頭に入った」などがあった。

改善点として、「今日の本題に入るまでが

長かった」、「ずっと同じ動作のビデオだったので眠らなくなった。ビデオの時間が長くて授業内容が少ないように感じた」、「復習長すぎ。その日の講義が進まない」などがあった。

学生は進行が遅いことを嫌がる傾向がある。

その他として、「壁倒立は、腹を壁側に行った方がよい。そこにマットを置けば、倒立前転も練習できる」と具体的なアドバイスを記載してくれた学生もいた。翌週に紹介した。

#### 9) 第11回

第11回は、陸上競技のリレーを取り扱った。個人の合計タイムよりリレーのタイムが短縮する理由を学生自身が考えるようにした。また、「田植え走」という短距離走における走曲線を出す教材も扱った。

学びを深めた点として、「田植え走をやってみたい」、「リレーのタイムの短縮の理由。

日本が得意とするリレーについての解説がわかりやすかった。陸上部の走りは参考になった」、「リレーのバドンパスの実演」、「リレーについてそんなに考えたことが無かったが、細かいことまでしることができたので、モチベーションが上がりました!!」などがあった。

改善点として、「プリントや名前間違いが目立っていた」、「昨年の試験の解答が欲しかった」という意見があった。

その他として、「リレーとかでいちいち前に出されるのは、勉強（テストや学力に関係しない）以外で恥を書きたくないの、やめてほしい」という意見があった。これに対しては翌週のフィードバックで、「この考え方は、私は違うと思います。教師になるのは、テストや学力だけではなれません。人前にたち、実演したりすることも教師としての大切な力

量ですので、積極的に前に来て、実演するという気持ちが必要です。また、そういう力を身に付けてほしいので、私はあえて、前に来て実演してもらっております」と回答した。

#### 10) 第12回

第12回は水泳を取り上げ、特に「ドル平泳法」という呼吸とリラクゼーションを重視した指導方法を講義した。また、ビデオや実際の指導アンケートなども紹介した

学びを深めた点として、「ドル平泳法を学ぶことができた」、「呼吸法が大切だとわかった」、「ドル平泳法をやってみたくと思った」、「動画がよかった」、「水泳の成功例の紹介。ドル平泳法を練習した生徒の感想を聞き、本当に誰でも上手くなれると思った」、「自分もあまり泳げないので、近所のプールでドル平泳法をこころみたい」、「自分が指導者になったときに見本を見せられるようにしたい」

改善点として、「この講義でしかできない学びをしたい」、「前回の復習を入れてほしい」などがあった。

#### 11) 第13回

第13回は球技を取り扱った。球技における面白さ（技術的特質）や、練習とゲームの関係など、ワークシートを利用し、学生が自ら考える授業を展開した。またバレーボール、バスケットボールの初心者指導について、ビデオを用いて講義した。

学びを深めた点として、「バレーの初心者と上級者の違いがわかった」、「バスケットボールの重要空間の大切さがわかった」、「いきなり完成を求めるのではなく、段階を踏んでやることで上達していくと思った」などがあった。

改善点として、「動画はとてもわかりやすかったけど、球技の部活の人とかいると思うからパスなどの見本は実際に教室の前でやったりしたらもっとわかりやすかったとおもいました」という建設的な意見があった。

### 3. 学生による授業評価の比較

本学において学期末に実施している「学生による授業評価」の過去4年間の平均値を表2に示した。今回の評価点は過去3年間よりも数値が高い項目が多く、特に、「この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか」という質問に対しては、過去最高値の4.24点であった。

自由記述では、「学生とのコミュニケーションが多かった。熱意をもって指導していただいた。アンケートを取り授業の改善に取り組んでいた。テストのための勉強ではなくその先を見据えた勉強ができた」（学生1名による回答）、「楽しかった」「フィードバック」という肯定的な意見があった。

改善すべき点として、「パワーポイント、レジュメのミスがときどきみられた」の回答もみであった。例年にくらべ改善意見が少なかった。これは毎時間の授業によって学生からの意見聴取を行っていたためと考える。

単位を取得した合格者数をみると平成26年度は143名中101名（70.6%）、平成27年度は116名中66名（56.8%）、平成28年度は110名中80名（72.7%）、平成29年度は、108名中58名（53.7%）と、過去最低の合格率であった。これは、授業内容とテスト課題が乖離していることが一つの原因と考え、改善すべき点といえる。



表2 学生による授業評価集計表 (H26年～ H28年)

(点)

	年度	H29	H28	H27	H26
	人数	88	84	92	116
この授業を意欲的に受講しましたか		4.20	4.10	4.15	4.03
内容を理解できましたか		4.11	3.94	4.01	3.94
考え方,能力,知識,技術などの向上に得るところがありましたか		4.10	3.98	4.11	3.93
シラバスに授業の目標や授業計画は具体的に示されていましたか		4.25	4.06	4.10	3.92
シラバスに成績評価基準/評価方法は具体的に示されていましたか		4.23	4.07	4.09	3.98
教員に熱意は感じられましたか		4.35	4.31	4.31	4.24
教え方(教授法)はわかりやすかったですか		4.11	4.04	4.02	3.93
教員の一方的な授業ではなく,コミュニケーションはとれていましたか		4.23	4.06	4.08	4.01
授業はよく準備されていましたか		4.24	4.12	4.11	4.06
教員の話し方は聞き取りやすかったですか		4.17	4.07	3.97	4.03
板書や配布物,提示資料は読みやすかったですか		4.13	3.98	3.96	3.95
教員は教室内の勉学環境を良好に保つよう,配慮していましたか		4.17	3.93	3.81	3.94
この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか		4.24	4.09	4.06	3.98

※5：はい 4：まあまあそうである 3：どちらとも言えない 2：あまりそうとは言えない 1：いいえ

#### IV. まとめと課題

#### 参考文献

本論においては北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科の「保健体育科教育法」において、授業コンサルテーションを実施し、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施し、その内容について報告することを目的とした。

コンサルティングの結果、学生は深い学びを期待していることが判明し、それを実現するためにアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施した。その結果、学生からは学びを深めることができたとの回答を得た。また、学期末に実施された「学生による授業評価」においては、例年と比較して数値が向上した項目が増加した。

今後の課題は、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の割合を増やし、学生の主体的な学びを深める授業展開を実施していくことである。

- 1) 中央教育審議会(2012) 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～. p.37.
- 2) 溝上慎一(松下佳代編著)(2015) ディープ・アクティブラーニング. p.32, 勁草書房.
- 3) 佐藤浩明章(2008) 授業コンサルテーションとは何か, FD担当者必携マニュアル 第3巻「授業コンサルテーション」, 媛大学教育・学生支援機構教育企画室, pp1 - 3.
- 4) 北翔大学(2016) 講義要綱2016生涯スポーツ学部2年次, p.96.
- 5) 竹田唯史・近藤雄一郎・森靖明・佐藤亮平・石井由依・小野地柊・杉岡品子・吉澤正伸・山本堅一・千葉道博(2017) 「アクティブ・ラーニングを取り入れた保健体育科教育法について—授業コンサルテーションの実施により—」, 北翔大学生涯スポーツ学部紀要, 8, pp61-78.

番号	項目	人数	割合 (%)
①	まったくできなかった。	1	1.2
②	あまりできなかった。	1	1.2
③	どちらともいえない。	9	11.0
④	少しできた	40	48.8
⑤	とてもできた	31	37.8
	合計	82	100.0

第1回 オリエンテーション  
9月22日 本日の授業で学びを深めることができましたか？

<学びを深めた点>  
1次、2次の試験内容、倍率などが理解できた  
試験や面接、実技に対してどのように準備すべきかを考えることができた。  
模擬授業の大切さ。一般常識の必要性。勉強の大切さ。  
身近に成功した人がいるから自信が持てた  
改めて教師になりたいと思えるような内容だった  
先輩の話や具体的な勉強方法  
86.6 勉強時間の目安などがわかり、これからのビジョンが見えた。  
100.0 いい刺激になった。  
頑張れば、誰でも1次試験は合格できるといわれた。  
毎日、少しづつの積み重ねが大事。  
積極的にコミュニケーションを取るように行動していかないとならない  
北翔大学は教員試験へのサポートがよく、北海道の1/3の合格  
最近では10名以上が合格  
全体の志願者が多いが、本気で受験している人は少ない  
教育実習は本気で教師になりたい人が受ける。  
3.5以上じゃないと1次は受からない  
→3.0以下でも合格者はいましたが、3.5を目標にがんばりましょう！  
よい教師になるための資質の内容  
教員の給与。特別支援の方が給与が高い。過去問題の購入方法  
先輩の合格者のリストをみて、どのゼミを選んだらよいかしぼることができた。  
大学院進学  
記憶するには見るだけではなく、書いたり、歌ったりする風に工夫してたのしみながら勉強するとよい。  
忘却曲線=エビングハウス。3回よりも5回。リズムで覚える。  
声を出させて覚えやすくしてくれた  
学生がうるさいときにしっかりと注意し、他の学生が講義を受けやすいようにしていた。  
生徒に問いかけをしていた。  
<改善点>  
最初から最後まで集中することができなかった。テストや自分の評価を下げてしまう。  
前に映っている画像が少し見えにくい  
理解できなかったことをそのままにしまった。  
→遠慮なく聞いてください。  
いつもテスト前にギリギリになって暗記していたので、コツコツと早めに取り組んでいきたい。  
触りの内容であったため。  
週3時間でもいいので、少しづつから勉強していこうと思った。  
教員の資質等の内容がありすぎたりすぎた  
<その他>  
実技の採点基準をもっと詳しく知りたい  
→「北海道教育委員会」のHP→「教職員関係」→「教員採用」のページに試験に関する情報が載ってます。  
北海道と札幌市の倍率の違い  
→「札幌市教育委員会 教員採用選考検査のご案内」で検索  
H29年2次合格者 6名 H30年 1次合格者 39名  
北海道と札幌市はどちらしか試験は受験できないのか？  
→はい、どちらかのみを受験です。

## 第3回 教育基本法

10月13日

本日の授業で学びを深めることができましたか？

番号	項目	人数	割合 (%)
①	まったくできなかった。	1	1.2
②	あまりできなかった。	2	2.4
③	どちらともいえない。	3	3.5
④	少しできた	46	54.1
⑤	とてもできた	33	38.8
	合計	85	100.0

&lt;学びを深めた点&gt;

教育に関わる法律の特徴や改正の経緯を理解できた  
リズムやゴロで覚えることができた

先生のラップで覚えた。

クローラップ 頭に残った。

マズローの欲求階層説

92.9 アクティブラーニング

100.0 インクルーシブ教育

年号は自分が何してたかを関連づけるとわかりやすい

関連する事項も学べた（マズロー、アクティブラーニング、インクルーシブ教育）

体育教師は運動のルール、技術だけでなく、人間性や体力向上させることが大事

グループワーク

竹田先生の説明は一つ一つ丁寧なので、いつもわかりやすいです。

プリントを進めるだけでなく、例え話や楽しい覚え方も一緒に教えてもらえるので面白く受講できます。

ランダムであてること

あてられるのは嫌ですが、あてられた方が覚えることができたので良いと思った

楽しく覚えることができた

質問することでアクティブラーニングのような授業を行っていた

プリントの穴埋めにより集中できる。

教育に関わる人物やその人が教育にもたらしたことなどの学びを深めることができなかった。

北海道教育委員会のHPの見方

雑学、一つ一つが楽しかったです。

勉強日程の表をうまく使えば、今よりもきれいにはかどると思うので使っていきたい

目標を紙に書いてハッキリさせることで教師になりたいと思う気持ちが強くなった。

口に出すことが大事。口に出すことにより、教師になりたくなった。

&lt;改善点&gt;

学生の積極性が足りなかった

先生にあてられた時にわかりませんと答えてしまった。何でもよいので答えてくださいと言われ、何とか答えることができた。次にあてられた際にはしっかりと答えたい

最後が駆け足になった。余談は多いが前半の内容は頭に残りやすい

長い名前がどうしても覚えれない

一覚え方をアドバイスしますので、覚え方が難しい語句は聞きに来てください。

最後の方がスピードが速くて、スクリーンを写すだけになってしまった。

家庭での復習が大切だと思った。

うるさい人がいたので注意力が散漫になった

あてるのはたまにいい。グループで話し合った後など

他の生徒があてられた時、自分はあてられないと思い、よく考えてなかった。

これらの授業ではすべての質問に自分が当たられたらと思いながら授業に臨んでいきたい。

プリントを写す時間がもう少しほしい

少し寝てしまった

その他

道外の教員採用試験は北海道に比べて難しいですか？

一はい。合格人数が非常に少なく、難しいです。例）秋田県：高校体育3名

しかし、本学の卒業生も9年目で今年、合格できました。継続して努力し続けること重要です！！

道外で合格し、その後北海道に戻ってくることはできますか？

一その場合は、再度、北海道で受験する必要があります。

道外の合格率や試験の内容も知りたいです

一自分の希望する県のホームページで採用数をなどを調べてみるとよいでしょう。

第4回 新学習指導要領			
10月20日 本日の授業で学びを深めることができましたか？			
番号	項目	人数	割合 (%)
①	まったくできなかった。	2	2.2
②	あまりできなかった。	3	3.4
①	どちらともいえない。	16	18.0
②	少しできた	43	48.3
①	とてもできた	25	28.1
		合計	89 100.0

<学びを深めた点>  
 一人一人の個性に応じて、教育していく必要があること  
 学習指導要領の改訂内容  
 ラップ  
 問題  
 復習  
 一人で考えずに、わからないところは友達と話し合うことで様々な意見交換ができた。またそれにより集中して授業に参加することができた  
 76.4 教員の法律がどのように改訂されているか  
 100.0 みんなが理解できるようにランダムに答えて、グループワークを行った  
 グループワークがあったので意見交流などいろいろな考えがてくる。  
 新たなことを学びつつ、前回の復習を行っていた  
 とてもわかりやすかった  
 法律は完璧に覚えた  
 ラップを取り入れてほしい  
 話し方が頭に入ってきやすかった。この時間で頭に入れることができた。  
 アクティブラーニング  
 何度も何度も繰り返すので頭に入りやすい  
 教育の法律の改正  
 20年度と29年度の学習指導要領の違いのライン引き  
 教材と教具の違い  
 教職の過去問はもっとやりたい  
 ゆっくり教えてくれた  
 プリントの穴埋めは理解しやすい  
 教師の仕事は子どもたちに教えることと、自分でわかっていることの差が激しい。子どもたちに伝えることは少ない。しかし、教師が知っていることは多くしていかないとならないと思いました。  
 <改善点>  
 集中が続かなかった  
 年号が覚えなかった  
 過去問で解けないところがあつてくやしかった  
 今週の部分はほとんどやっていない。終わるのか。  
 100%の理解ができなかった  
 80%から100%にできるように家で復習したい  
 跳び箱の内容で手を着するは正しいのか？  
 一正式には、「着手」のみでOKですね。ありがとうございます。  
 前半に力を入れすぎ。  
 1週間たつと内容を忘れてしまう一復習しましょう！  
 背景の青がみづらい。  
 ラップやめてほしい。ラップは覚えにくい。ラップうるさい。  
 法律等の年号をもっと合わせて覚えるようにしたい  
 グループワークのとき、関係ない話をしてしまった。  
 最後に詰め込み過ぎる  
 プリントを持ってくるのを忘れた  
 教室が暑かった一自由に窓を開けてください。遠慮なく申し出てください。  
 復習が多いため授業の進みが遅い  
 たくさん、当てなくてもよい  
 学習指導要領の違いを覚えきれない  
 眠くて集中できないときがあった  
 先生の言っているほげがつかめなかった  
 寝てしまいました。ごめんなさい  
 <その他>  
 試験の問題はどんな感じか？一近いうちに過去問を提示します。  
 北海道で受験した場合と札幌で受験した場合、臨時採用される確率は変わりますか？一臨時採用はその年の状況次第なので、はっきりとはわかりませんが、確率的には、ほぼ同じだと思います。1次を合格していれば、ほぼ臨時がくる可能性があります。  
 札幌市で受験した場合、臨時採用は札幌市内ですか？一そうとも限りません。どこから依頼がくるか、自分がどちらを希望するかによって異なります。

第5回 指導計画の立案方法				<学びを深めた点>
10月27日 本日の授業で学びを深めることができましたか？				年間計画や評価論、観点別評価を学んだ。単元評価論の繰り返しで覚えた(診断・形成・総括)
番号	項目	人数	割合 (%)	
①	まったくできなかった。	0	0.0	レディネス=準備状況
②	あまりできなかった。	0	0.0	系統発展性の学習の仕方ができるようになりたい
③	どちらともいえない。	10	13.5	系統性(つながり)、体育と保健の単位時間H10.H20(学力と体力の低下) 一向上へ
④	少しできた	40	54.1	実際に指導にあたっての進め方や観点を学ぶことができた。
⑤	とてもできた	24	32.4	86.5 教員になれそうな気がした。
	合計	74	100.0	100.0 個人に話しかけて発表させ、授業が工夫されていた 問いを深めていた。教師としての指導のポイント。 大事なところを何度も言ってくれる 細かいポイントの要点の提示 わかりやすい指導、スムーズに進んでいた。 一つ一つが丁寧でわかりやすい。ランダムに当てること 適度に当てて、考えさせて効率の良い授業であったと思う。 グループワークで授業を一時的に行うのではなく、生徒も発言しやすい雰囲気 で問題に取り組もうと思いました。プリントも穴埋めでわかりやすいです。 アクティブラーニングがよかった 生徒とのコミュニケーション みんなで考える時間があったのが良かったです。 話すスピードがちょうどよいので頭に入りやすい 真剣に集中できるペースで授業が進んでいた。 親身な指導 毎回繰り返し読むのは覚えるきっかけとなる。 ゆっくり進んだのが理解しやすくなった 教師として知っておかなければならないことが分かった 野球で例えてくれてわかりやすかった 授業初めのテスト(復習) 最先端のお笑いを取り入れるのはうれしい 復習と暗記が多い。 前回の教育基本が覚えていたので、ラップの効果が出る ラップの方が覚えた！！ ランダムではなく先生があてにきたこと。 今までで一番よい授業だと思う。
				<改善点> なぜかプリントが消えてしまった。 途中で私語をしてしまった。 少し暑かった ラップがなくて少し寂しかった。自分にはラップが必要です。 プリントで書けなかったところがあった。 進むペースが遅い 後半、かけ足になりがちです。後半、淡々と進む。  生徒に当てすぎて、ソワソワして集中できないし、人に当てたときにザワザワしてうるさいので、無くしてほしいとは言わないが、少なくしてほしい。  ランダムで当てすぎて、当たった人が答えられなかった時の時間をもったいないと思います。 当てるのが多い。何度もしつこい。 他の生徒が答える声の間こえなくて理解できなかった。 覚えていない。単元計画が書けない
				<その他> ラップが良い！ ちょいちょいうるさい スライドの間違が多い一すみません。気を付けます。 清宮は知っておいた方がいいと思います。一すみません。努力します。 先生ちょっとかわいそうになった。元気出して！一ありがとー！私は大丈夫です！ テストはどのような感じになりますか？一問題集が発売されたら説明します！  年間計画の「地域の条件」に冬に雪が降るといった「天候」は含まれるか？ 一はい。その通りです。「気候」ということでもよいです。

第7回 体づくり運動				<学びを深めた点>	
11月10日 本日の授業で学びを深めることができましたか？				体づくり運動	
番号	項目	人数	割合 (%)		
	番号なし		0.0	・体の使い方の基礎を学ぶ運動	
①	まったくできなかった。	0	0.0	・体育では体力以外に自己の課題の解決や合理的な解決ができる	
②	あまりできなかった。	2	3.1	・現代は文化が成熟し複雑化、多様化している。他者と交流して問題解決をすることが求められている。	
③	どちらともいえない。	4	6.2	20年と29年の変更点をわかりやすくまとめてくれた。	
④	少しできた	37	56.9	学習指導要領の変遷	
⑤	とてもできた	22	33.8	改訂される2つをわかりやすく教えてくれる。	
	合計	65	90.3	90.8 スキャモンの発達曲線	
			100.0	過去問	
				復習を何回もやることで覚えることができる	
				先生のラップ	
				全てがスムーズだった	
				丁寧な教え方だった	
				教職教養	
				個人的に発表させていた	
				問題結構とけた	
				早く問題集が欲しいです	
				バワボが多彩	
				<改善点>	
				問題の答え合わせをしてほしい	
				グループワークなどのアクティブラーニングがなかった	
				ラップが少なかった	
				試験の内容を話してほしい	
				復習をしている講義はなかなかないのでもっと増やしてほしい	
				暑すぎる	
				ラップが好きではない	
				話すスピードが少し速かった	
				「学びに向かう姿勢」の意味	
				一たくさん書いてくれてありがとう。上記3点に箇条書きでまとめてます。	
				「学びに向かう姿勢」とは、生徒が主体的に授業に取り組んでいる姿勢です。受け身的で参加するのではなく、自ら考え、積極的な姿勢で授業に向かっている姿勢のことをいいます。	
				<その他>	
				H20とH29（1）の変更点	
				目的に適した運動を身につけのままですが、変更有りですか？	
				一すみません。下線削除でした！！ご指摘ありがとうございます！！	
				毎回、アンケートでいろいろとDisられているけど一切ひるまず、わかりやすい授業をしている先生はすごいと思う。	
				一Disられているとは思っていません。良い授業のためのアドバイスとして聞いていますので！！	
				履修消したい一期間が過ぎてしまっているので、残念ながら無理でした	

第9回 器械運動①					
12月1日 本日の授業で学びを深めることができましたか？					
番号	項目	人数	割合 (%)		
	番号なし		0.0		
①	まったくできなかった。	1	1.5		
②	あまりできなかった。	2	3.0		
③	どちらともいえない。	5	7.5		
④	少しできた	26	38.8		
⑤	とてもできた	33	49.3	88.1	
	合計	67	100.0	100.0	

<学びを深めた点>  
 技術と技能などの言葉の違い  
 器械運動の特性  
 技の仕組み  
 マット運動の回転系の技のコツを理解できた  
 腰角拡大  
 器械運動の運動経過を詳しく知ることで生徒にこれを伝えればイメージしやすいと思った。毎回、復習をしてくれるので、よい。  
 H20とH29の違い。器械運動の特性について  
 専門分野についてわかりやすかった。  
 大事なところをはっきりと言ってくれた  
 器械運動は今、やっているので理解できた  
 いつも問題を出してくれて勉強できる  
 過去問がよい  
 先生が体を動かしてくれたので、イメージしやすかった  
 ゆっくりとした説明  
 用語を繰り返し伝えてくれる。  
 スムーズに進み、要点がわかりやすかった。  
 生徒と会話しながらやっていた  
 余談も交えて楽しくできた  
 ラップ  
 <改善点>  
 2回宙3回ひねりは、後ろに2回バク転ではなく、バク宙です。所々がうと  
 ころがあった。一ご指摘ありがとうございます！今後も何かあれば、指摘  
 ください。  
 途中、居眠りをした。もったいないことをした。  
 ラップが嫌です。  
 同じことを何回も書かされた

<その他>  
 52歳の誕生日おめでとうございます！！一ありがとうございます！！

第10回 器械運動②ビデオ、陸上競技①					
12月8日 本日の授業で学びを深めることができましたか？					
番号	項目	人数	割合 (%)		
	番号なし	3	4.1		
①	まったくできなかった。	0	0.0		
②	あまりできなかった。	3	4.1		
③	どちらともいえない。	10	13.7		
④	少しできた	23	31.5		
⑤	とてもできた	34	46.6	78.1	
	合計	73	100.0	100.0	

<学びを深めた点>  
 川跳び超しから側転、跳び箱につながるこ  
 マット運動の技のコツ、陸上競技の指導面  
 器械運動の効果的な練習法  
 ビデオを利用して説明したこと  
 体をはった側方倒立回転。実技が良かった。動きが若い  
 復習が長いので先週の内容は頭に入った。

<改善点>  
 今日の本題に入るまでが長かった。  
 ずっと同じ動作のビデオだったので眠らなくなった。ビデオの時間が長くて授  
 業内容が少ないように感じた。  
 復習長すぎ  
 首が長い人とその周辺がうるさい。  
 少し長い。その日の講義が進まない。

<その他>  
 壁倒立は、腹を壁側に行った方がよい。そこにマットを置けば、倒立前転も  
 練習できる一good アドバイスありがとうございます！！  
 テストについての説明をしてください。  
 だるかった  
 チャック空いてます！一ウケタ  
 いつも楽しい授業で苦でないです。

番号	項目	人数	割合 (%)
	番号なし		0.0
①	まったくできなかった。	0	0.0
②	あまりできなかった。	0	0.0
③	どちらともいえない。	6	8.8
④	少しできた	27	39.7
⑤	とてもできた	35	51.5
	合計	68	100.0

第11回 陸上②リレー  
12月15日 本日の授業で学びを深めることができましたか？

<学びを深めた点>  
田植え走をやってみたい  
リレーのタイムの短縮の理由。  
リレーのバトンパスの実演。  
日本が得意とするリレーについての解説がわかりやすかった。陸上部の走りは参考になった。  
リレーについてそんなに考えたことが無かったが、細かいことまでしることができたので、モチベーションが上がりました！！  
考え方は少し違ったが、37秒と答えを導くことができた。  
リレーの説明がとても分かりやすいです。

利得区間  
計算をやるのは大事  
前で説明した佐々木君の説明がわかりやすい。交代しては？  
1軸より2軸の方が速い  
先生の実演。ビデオ教材。  
興味深かった  
復習の方法が授業後でよかった  
各運動の技の名称が覚えやすい（ラップ調、復唱により）  
最高  
内容がスムーズで早く終わった  
書いて覚えることが授業でできた。  
過去問を出してくれたこと

<改善点>  
暑かった  
プリントや名前間違いが目立っていた  
昨年の試験の解答が欲しかった一問題集にすべて載ってます。また、自分で調べてることも勉強になります。

<その他>  
優さんの説明はわかりやすかった  
いつも要望に応じてくれたり、よりよい授業になるように改善してくれてありがとうございます。

マツト運動の「ほん転」とはどういう意味で、どういう感じですか？→「翻転」と書きます。言葉に意味は、「ひっくりかえすこと」（大辞林）です。

4×100mリレーの日本記録はリオ五輪の決勝で出した37秒60です。予選でも37秒68なので、37秒69というタイムはないです。一すみません。間違えました。37.60に修正します。

テストは持ち込み可ですか？→持ち込み不可です。

ラップを多用化してほしい（頭に入る。自分でみてもうまくラップできない）→不快を感じる人もいるので、個人的にお知らせしますので、聞きにしてください。

リレーとかでいちいち前に出されるのは、勉強（テストや学力に関係しない）以外で恥を書きたくないので、やめてほしい。→この考え方は、私は違うと思います。教師になるのは、テストや学力だけではなれません。人前にたち、実演したりすることも教師としての大切な力量ですので、積極的に前に来て、実演するという気落ちが必要です。また、そういう力を身に付けてほしいので、私はあえて、前に来て実演してもらっております。



第12回 水泳					
12月22日 本日の授業で学びを深めることができましたか？					
番号	項目	人数	割合 (%)		
	番号なし	4	4.8		
①	まったくできなかった。	0	0.0		
②	あまりできなかった。	0	0.0		
③	どちらともいえない。	9	10.8		
④	少しできた	28	33.7		
⑤	とてもできた	42	50.6	84.3	
	合計	83	100.0		
				100.0	
				<p>&lt;学びを深めた点&gt;</p> <p>水泳の指導方法。ドル平泳法を学ぶことができた 呼吸法が大切だとわかった ドル平のすごさがわかった、ドル平泳法をやってみたくと思った 動画がよかった、DVDによりドル平の良さがわかった</p> <p>水泳においては呼吸に困難があるので時間をかける必要があると思えた 水泳の成功例の紹介。ドル平泳法を練習した生徒の感想を聞き、本当に誰でも上手くなれると思った 1年生の頃に水泳でやっていたのですぐに理解できた ドル平泳法をしらなかった。 自分もあまり泳げないので、近所のプールでドル平泳法をこころみたい。 自分が指導者になったときに見本を見せれるようにしたい 毎回の授業評価で皆の意見が参考になった 竹田先生は今も昔も変わらず熱心な指導をしていた</p> <p>&lt;改善点&gt;</p> <p>ドル平のすごさはわかったが、細かい動きを実際にやるとなるとできるか不安なほどです。</p> <p>この講義でしかできない学びをした 講義時間が少し短い、内容が少し少なかった 前回の復習を入れてほしかった 寝不足により集中できなかった</p> <p>&lt;質問&gt;</p> <p>教採では何割取れば、合格ラインにはいるのか？ 一理論試験では7割が一つの目安です。 実技試験では、基本的にAかBを取得して、1つくらいCなら合格ラインです。Dがあると合格は難しいです。 教採二次試験の水泳では、泳法に決まりはあるのか？ 一クロールと指定されています（北海道では）。 授業のテンポがよい テスト範囲をわかりやすくまとめたプリントが欲しいです。 一テスト範囲は、過去問題の体育実技の問題です。 選択肢の順番は変わりますか？ 一選択肢はない可能性が高いです。言葉をそのまま覚えてください。</p>	
第13回 球技					
1月12日 本日の授業で学びを深めることができましたか？					
番号	項目	人数	割合 (%)		
	番号なし	3	4.3		
①	まったくできなかった。	0	0.0		
②	あまりできなかった。	5	7.2		
③	どちらともいえない。	8	11.6		
④	少しできた	23	33.3		
⑤	とてもできた	30	43.5	76.8	
	合計	69	100.0		
				100.0	
				<p>&lt;学びを深めた点&gt;</p> <p>バレーの初心者と上級者の違いがわかった バスケットボールの重要空間の大切さがわかった いきなり完成を求めるのではなく、段階を踏んでやることで上達していくと思った ビデオがよかった 基礎から丁寧に教えて技術向上させることが大切 友達の見方を聞いた 授業の運びがよく、よくわかった</p> <p>&lt;改善点&gt;</p> <p>動画はともわかりやすかったけど、球技の部活の人とかいると思うからバスなどの見本は実際に教室の前でやったりしたらもっとわかりやすかったとおもいました</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>教員採用試験はすべて選択回答なので、今回の試験もそのようにしてほしい</p>	

